

はやわかり！皮膚科専門医制度の特色について



どうして皮膚科領域の研修期間は他科より長いのです？



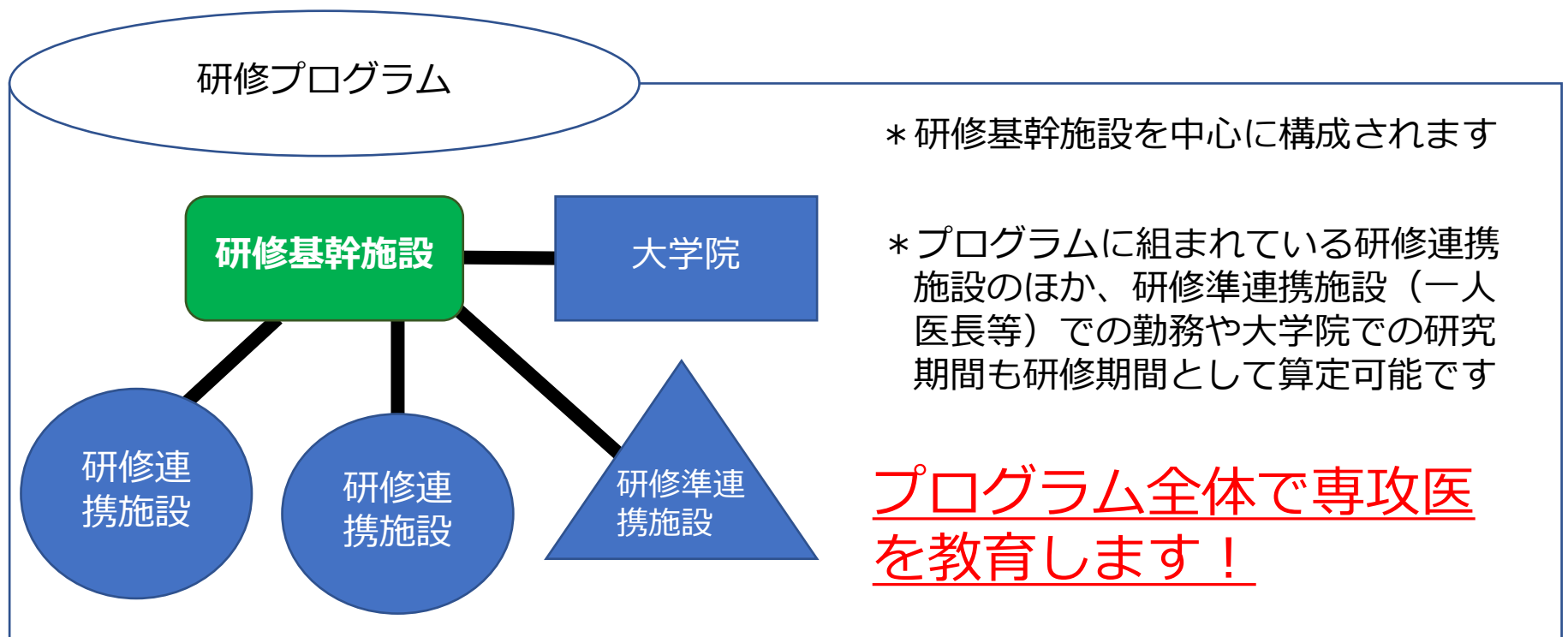
女性にとって（結婚や出産を考えると）厳しい科なの？

※種々の質問に答えるべく本紙を用意いたしました。皮膚科研修を開始する際の疑問点の解消の一助となれば幸いです。

日本皮膚科学会 専門医制度委員会

① 専門医制度の骨格について

2018年より開始になった新専門医制度はプログラムによる研修を行います。プログラム研修の概略は次のとおりです。



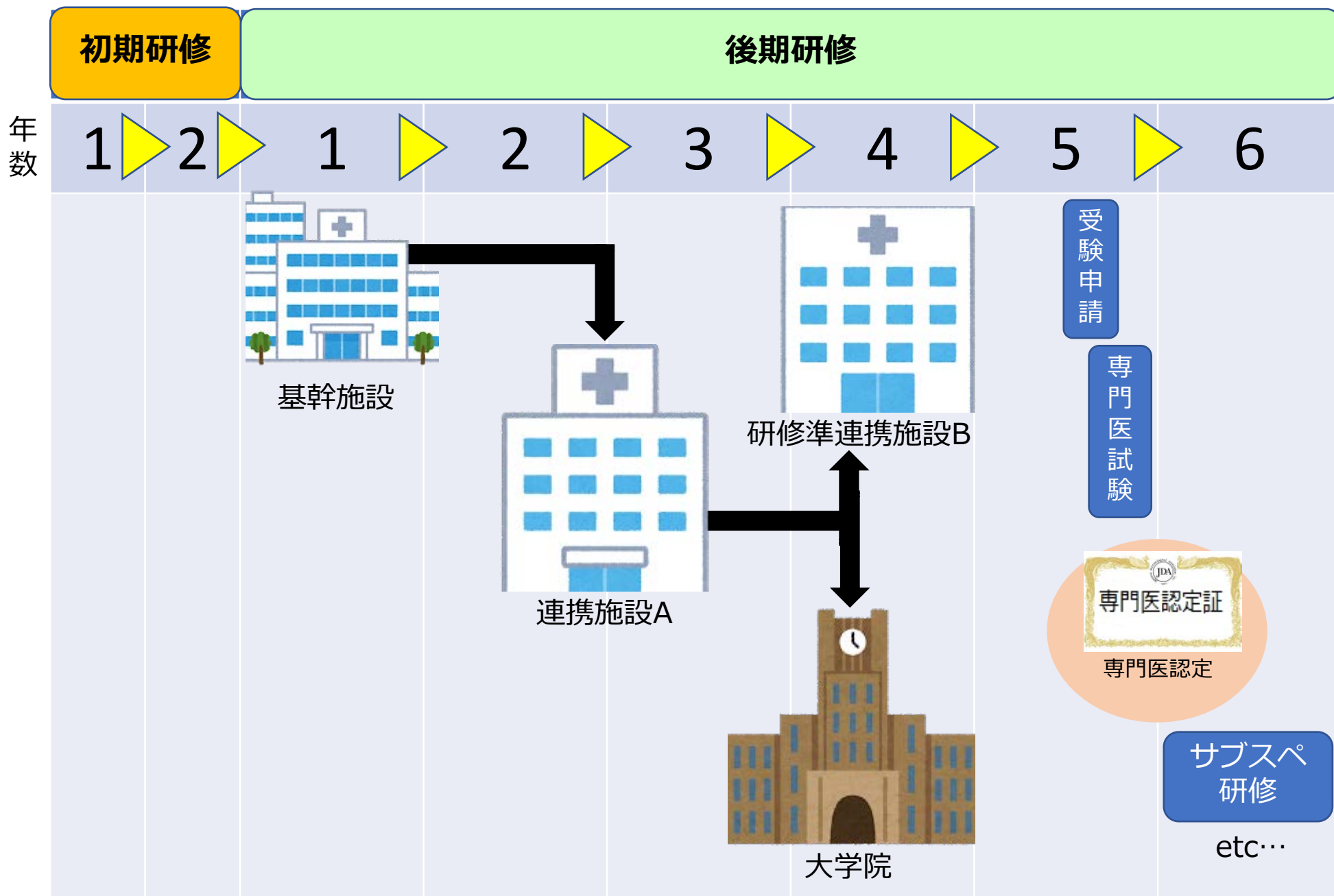
② 皮膚科専門医制度の特色について

研修すべき事柄、修得すべき内容などは皮膚科専門医研修カリキュラム（日本皮膚科学会ホームページ）に示していますので、そちらをご確認ください。また、皮膚科の研修期間は5年間と基本領域では最長ですが、これは皮膚科専門医がサブスペを取得する前提で専門医制度を構築していないためです。つまり、皮膚科専門医はサブスペを前提としている基本領域の1階部分と同じレベルではなく、例えば、消化器専門医などと同じレベルであるべきだと考えています。なお、皮膚科研修を進めるうえで、個々人のライフイベントに合わせた柔軟な運用が出来るよう以下の制度も導入しています。

- * 育休・産休の期間は6ヶ月を上限に研修期間として認められます！
- * 一人医長の期間は最大2年間まで研修期間として認められます！
- * 大学院は基礎系・他科での研修は最大2年間まで。皮膚科で研修しながら研究を行っている期間は全て研修期間として認められます！
- * 研修終了見込み、の時点で**専門医受験申請が可能**です！つまり、最短であれば5年間の研修期間終了後、速やかに専門医として認定されます！

③ 【皮膚科専門医の進路（例）】

※ローテートする施設の数、異動のタイミング、大学院や研修準連携施設（一人医長等）の有無は、研修プログラムによって異なります。



※研修終了見込みを踏まえて、専門医の受験申請の時期は10月から11月ごろ。認定試験は年明けの1月頃を予定しています。

④ 【皮膚科医を目指すべきうえでの Q & A】



皮膚科医として気を使うべきところは何ですか？

患者さんの訴える皮疹だけでなく、全身をしっかり診察することです。日常生活の中に思いがけない病因が隠れていることもあり、名探偵のように広い視野と深い洞察力を養うことが大切です。



皮膚科医になってよかった！と思えることは何でしょうか？

なんといっても治療効果が目に見えてわかり、患者さんと喜びを共有できることです。人を助けているという実感を大きく感じることが出来ます。